

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 29. 4. 19 第 193 回国会第 16 号

4 月 19 日（水）、第 16 回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

- ・塩崎厚生労働大臣、盛山法務副大臣、橋本厚生労働副大臣、古屋厚生労働副大臣、樋口文部科学大臣政務官、堀内厚生労働大臣政務官、馬場厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

豊田 真由子君（自民）

- ・防災・減災対策に関し、災害発生時の対応や復旧・復興における中長期的対策について、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 30 年度の医療・介護報酬の同時改定において財政健全化と社会保障の充実の両方の実現を図ることに対する厚生労働大臣の決意を伺いたい。
- ・国際保健分野で我が国の意思を的確に反映するための有為な人材の育成等に関するこれまでの取組と今後の意気込みを伺いたい。

伊佐進一君（公明）

- ・介護従事者の身体の負担を軽減する介護スーツを職場定着支援助成金の対象とすべきではないか。
- ・介護職に従事する外国人技能実習生は、配置基準上の職員に含めることができるのか。
- ・社会保険未加入の作業員であっても、特段の理由があれば建設現場への入場が認められる場合があることの周知を徹底すべきではないか。

中島克仁君（民進）

- ・病院における災害時の事業継続計画（BCP）の策定が進まない理由及び現在の BC P の策定状況並びに災害対策マニュアルと BC P の違いについて、厚生労働省に伺いたい。
- ・全国で福祉避難所は何か所指定されているか、また、市区町村の福祉避難所の指定率はどれくらいか。
- ・総務省の「発達障害者支援に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」において提示された 3 つのポイントにどのように取り組むのか。

大西健介君（民進）

- ・今国会提出の精神保健福祉法改正案の説明資料を参議院における法案審議中に訂正したことについて、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・WHO の公共の場での屋内完全禁煙を要請する文書に対し、厚生労働省は本年 3 月に発表した「基本的な考え方の案」を下回らない水準で対策を行う方針であることに変わりはないか。
- ・骨髄移植・末梢血幹細胞のドナーと患者の接触に関する要件の緩和を検討すべきではないか。

初鹿明博君（民進）

- ・介護福祉士やサービス提供責任者等の資格取得に必要な実務経験の証明に当たり、事業所の倒産等により証明書を取得できないような場合には、簡便な方法での証明も可能とすることを検討すべきではないか。
- ・今国会提出の介護保険法改正案が成立した後に、障害福祉サービス事業所が介護保険事業所の指定を取得することを地方自治体が強要しないよう、厚生労働省は通知を出すべきではないか。
- ・生活保護制度において、子どもが世帯分離せずに大学進学できるよう、稼働年齢の者（義務教育を修了した者）を給付の対象外とする原則を変更する必要があると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

岡本充功君（民進）

- ・高病原性鳥インフルエンザの発生状況について、WHO による情報だけではなく、厚生労働省が独自に情報収集を行い、常に最新の情報を公表すべきではないか。
- ・健康保険証や運転免許証の交付時に、臓器提供意思表示欄への記入を呼びかけるべきと考えるが、厚生労働省及び警察庁の見解を伺いたい。
- ・米国における臓器移植の実態を調査するとともに、レシ

ピエントの渡航・移植費用に係る支援策を検討すべきではないか。

堀内 照文君（共産）

- ・認定が取り消された兵庫県姫路市の認定こども園「わんずまぎ一保育園」に私的契約で入園していた園児の受入先を行政の責任で確保すべきではないか。
- ・わんずまぎ一保育園のような個人が運営している地方裁量型認定こども園の実態を全国的に調査し、問題があれば早急に是正すべきではないか。
- ・地域での子育て支援を進めるためには、公立保育所の果たす役割が大きいと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

河野 正美君（維新）

- ・4月14日の未来投資会議において厚生労働大臣は「データヘルス改革」を打ち出したが、どのような問題意識の下、どのように医療・介護を変えようとしているのか。
- ・要介護者の自立支援のためには、科学的に効果が裏付けられたサービスだけでなく、多様なサービスの中から選択できる環境を整えることが重要と考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・受動喫煙防止対策を強化する健康増進法改正案の取りまとめに向けた議論が与党内で進んでいないと把握しているが、何が問題となっているのか、今後の見通しも含めて伺いたい。

2 厚生労働省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出第16号）

- ・塩崎厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。